

基本的施策Ⅳ 水田湛水の推進

生産調整に係る米政策改革により、産地自らの作付判断の重要性が増す中、主食用米・新規需要米について需要に応じた生産への取組みが広がりつつあります。

本計画においては、農業団体等と連携しながら、多様なニーズに対応した水稻の生産を推進することで水稻全体としての作付面積を拡大し、水田における湛水を推進します。

水田に利用されるかんがい用水は地下に浸透し、地下水を豊かにします。地下水のかん養効果が非常に大きい白川中流域の水田湛水について、関係企業、団体、市町村等と連携しながら、取組みを広げます。

白川中流域の水田湛水に加えて、他の地域についても水田活用を広げていくため、かん養効果の高い台地部等に対して、水田の積極的な湛水を進めていきます。

・プログラム（具体的取組）Ⅳ－1

水稻の作付拡大

目標指標：水稻の作付面積 42,300ha → 42,600ha

アクション1 主食用米の生産振興

県育成良食味新品種「くまさんの輝き」をリーディング品種に位置づけ、県産米の評価向上と価格形成を図ることで、生産者の作付意欲向上を目指します。

需要が堅調な中食・外食向けの業務用米、及び海外向けの輸出用米に対応した多収・低コスト生産を推進し、需給動向を勘案して生産振興を図ります。



アクション2 新規需要米の生産拡大及び生産流通体制整備に対する支援

新規需要米の収穫量向上に必要な技術指導に取り組むとともに、熊本県新規需要米流通連絡協議会等を活用し、関係機関と連携しながら生産拡大に向けた機運の醸成を行います。

農業団体等が行う穀類乾燥調製貯蔵施設等の施設・機械整備に対する支援を行い、新規需要米の生産・荷受・乾燥・調製・貯蔵等の生産流通体制の構築を図ります。

・プログラム（具体的取組）Ⅳ－２ 白川中流域における水田湛水の拡大

目標指標：白川中流域水田かん養量 1,507 万 m³ → 2,100 万 m³

アクション1 水田への湛水等積極的な地下水かん養

関係する市町村、農業関係者、団体等と連携を図りながら、耕作をしない時期に水田へ水を張ることで病害虫の防除を行うなど、水田の機能を活かした積極的な地下水かん養を進めます。



アクション2 地下水かん養地域における水田の確保

地下水かん養地域における水田の保全を行うとともに関係する市町村、農業関係者、団体等と連携を図りながら、地下水かん養量の確保を行います。また、地下水かん養に理解を示す県民等の協力による水田オーナー制度を活用した地下水かん養の取組みの拡大を図ります。

・プログラム（具体的取組）Ⅳ－３ かん養効果の高い地域における水田湛水の拡大

目標指標：台地部等水田かん養量 346 万 m³ → 570 万 m³

アクション1 かん養効果の高い地域における水田への湛水等積極的な地下水かん養

高いかん養効果が得られる白川中流域以外の水田においても、耕作をしない時期に水田へ水を張る水田湛水を、関係する市町村、農業関係者、企業、団体や財団等と連携を図りながら、取り組みます。

また、現在実施中の冬期の湛水については、地域での拡大に取り組みます。

